

A.Y 運送会社(国際部)勤務

京都ノートルダム女子大学

国際言語文化学部 英語英文学科卒

私にとって大学4年間は、非常に充実していてあっという間でした。特に、学業・留学・就職活動ではあらゆる面で自身を大きく成長させてくれたと感じています。

入学直後は新型コロナウイルスの影響で制限を設けられた学校生活でしたが、限られた環境の中でTOEIC といった英語の資格勉強に励みました。

2回生の後期には、コロナ禍も落ち着き、半年間のトロント大学での語学留学を経験しました。現地では語学力の向上を目指すと同時に、語学学校やホームステイ先で多様なバックグラウンドを持つ人々と交流しました。異なる価値観や文化に触れることで、自身の視野が大きく広がったのを実感しています。

帰国後は、伏見稲荷大社近くの雑貨店でアルバイトを始め、海外からのお客様への英語での接客に挑戦しました。海外のお客様との接客を通して、どのような対応が求められているのかを汲み取り、言語やジェスチャーを用いて円滑に意思疎通を図ることの大切さを学びました。

3・4回生では主にゼミの研究と就職活動に取り組みました。日系文学ゼミに所属し、日本にルーツを持ちながらも海外で創作活動を行う作家の作品に触れました。卒業論文では、カナダに暮らす日系移民の三世代を描いた小説『コーラス・オブ・マッシュルーム』を取り上げ、世代間におけるアイデンティティの形成の過程を分析しました。この研究を通じて、文化や歴史的背景が個人の意識や生き方に影響を与えるということを明らかにしました。

就職活動では国際物流業界を志望しました。留学中、現地で日本の製品が不自由なく手に入った経験から、国境を越えてモノを届ける物流の重要性を強く実感したことがきっかけです。物流は人々の生活を支える基盤であり、私自身も国内外の架け橋として消費者にモノを届け、人々の生活を支えたいと考えました。

現在はフォワーディング事業を行う企業にて、海上輸送における輸出入業務に従事しています。入社から半年間で本船動静の把握、B/L(船荷証券)の作成・発行、更には顧客や取引先からの問い合わせの対応など幅広い業務を経験してきました。書類の不備や手配のミスがあった場合は、貨物の遅延につながるリスクがあるため、常に正確かつ迅速な対応を心がけています。今後は、更に国際物流に関する知識を深めると共に、顧客や取引先との信頼関係を築くことや、社内でも頼ってもらえる存在になることを目標としています。最終的には、自身の業務を通じて社会に還元していきたいと考えています。